

今日のトピック

## 中国株急落、当局は矢継ぎ早に株価対策を発表

### ポイント1 高値から約30%下落

株価対策もあり週明けの市場は反発

- 上海総合指数は、年初から6月12日の終値まで約60%上昇した後一転、7月3日まで約29%下落しました。香港で取引されるハンセンH株指数は、5月26日の高値から7月3日まで約15%下落しました。景気減速下でも株式市場が大きく上昇し、高値警戒感が強まるなか、政府の景気対策への失望や新規株式公開による需給悪化懸念が株価急落の背景にあります。7月5日のギリシャ国民投票を前に警戒感が強まったことも要因です。
- これに対し政府・当局は、6月27日の追加利下げをはじめ7月4日まで株式市場のテコ入れ策を矢継ぎ早に発表しました。こうしたこともあり週明け6日午前の上海市場は前週末比上昇しています。

### ポイント2 信用取引規制を緩和

取引所、大手証券も対策を発表

- 信用取引にからむ証拠金追加のための売り圧力に対して、証券監督管理委員会は7月1日、信用取引の担保要件を大幅に緩和する措置を発表しました。また、上海、深セン両取引所は同日、取引手数料を8月1日から30%引き下げると発表しました。さらに、大手証券21社は、ETFを通じて1,200億元の資金を市場に投入することに加え、上海総合指数が4,500ポイントに達するまで保有株式を売却しない方針を明らかにしました。

今後の展開

### 株価と景気テコ入れのための追加対策が期待される

- 中国株式市場は、引き続き振幅の大きい不安定な値動きが見込まれます。ギリシャの国民投票が緊縮策を拒否する結果となったことも、しばらく投資家心理を抑えそうです。市場動向次第では、証券取引印紙税率引き下げや政府系投資会社による買い支えなどの追加措置もありそうです。

- 中国の景気は減速傾向にあり、政府は来年から始まる5カ年計画を視野に、景気刺激策を強化すると予想されます。追加の金融緩和や製造業の競争力強化などにより、+7%前後の成長率目標の達成を目指す見込みです。こうした政策強化も株式市場を下支えすると期待されます。

ここも  
チェック!

2015年06月30日 中国は追加金融緩和、景気減速と株価下落に対応  
2015年06月23日 最近の指標から見る中国経済(2015年6月)



(注) データは2014年1月2日～2015年7月3日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

#### 上海総合指数の前日比騰落率と主な株価対策等

日付	騰落率	株価対策等
6月27日	土 -	追加利下げ、預金準備率引き下げ
6月29日	月 ▲3.3%	政府系年金基金に30%の株式投資を認める政府系ファンドがETFを100億元購入
6月30日	火 +5.5%	中国人民銀行が資金供給オペ
7月1日	水 ▲5.2%	上海・深セン取引所が取引手数料を3割カット 証券監督管理委が信用取引規制を緩和
7月2日	木 ▲3.5%	
7月3日	金 ▲5.8%	
7月4日	土 -	新規株式公開の承認を凍結 大手証券がETFに1,200億元投資、上海総合指数4,500ポイントまで保有株を売却せず

(出所) 各種報道、Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。